

第4章 松浦市の目指す方向

1. 目指す方向

本市は、「まつらのこほり松浦郡」から続く由緒ある「松浦」という地名を市の名称に受け継いでおり、「松浦」の歴史文化は市民の誇りになっています。

その背景には、いつの時代も変わらず、海が身近な存在であり続けてきたことが大きく影響していると考えます。海は、古くから人々の暮らしに欠かせない存在であり、本市の歴史文化と深く関わってきました。海との深い関わりは今も昔も変わりません。時に海は、蒙古襲来をはじめ、人々に脅威を与える存在になったこともあります。先人は一致団結し、その脅威に立ち向かっていきました。海から訪れた脅威を乗り越えた歴史は、人々の郷土に対する愛着や誇りとなり語り継がれてきました。様々な年中行事や言い伝えをはじめ、海がある暮らしが本市固有の文化財の創造にも繋がってきたと考えます。

本市は、歴史文化の特徴である「海との深い関わりの中で松浦固有の歴史文化が育まれていること」をより多くの人々と共有し、そうした人々とともに文化財を持続的に保存・活用していくため、松浦市の目指す方向として「**海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち**」を掲げ、その実現に取り組んでいきます。

- 目指す方向 -
海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち

文化財の持続的な保存・活用

海との深い関わりの中で
松浦固有の歴史文化が育まれていること
松浦市の歴史文化の特徴

図 目指す方向

2.基本目標

文化財の保存・活用の目指す方向に「海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち」を掲げる一方、本市は少子高齢化の時代を迎え、これまで当たり前の存在であった歴史文化の継承も危ぶまれるようになっていきます。市内に所在する文化財「ばしょ」、「いとなみ」、「もの」の中には存続が危機的なものも見られるようになっていきます。市民の誇りとして継承されてきた郷土の歴史文化や文化財を次世代に継承させるためには、先人と同じように、現代に暮らす私たちが一致団結し、取り組んでいかななくてはなりません。

そのためには、市民を含む民間や専門家と連携し、文化財をまずは拾い上げてその価値を見出す調査研究が第一です。そして、文化財としての価値をより多くの人々と共有し、理解と協力を得て、官民協働で文化財を保存・活用していくことが求められます。

本市は、「海とつながる松浦の歴史文化を誇りとするまち」の実現に向けた基本目標として「文化財を磨き、輝かせ、次世代につなぐ好循環を官民協働で生み出す」ことを掲げ、官民協働を重視し、文化財の調査研究から、文化財の保存、そして活用の推進に取り組みます。

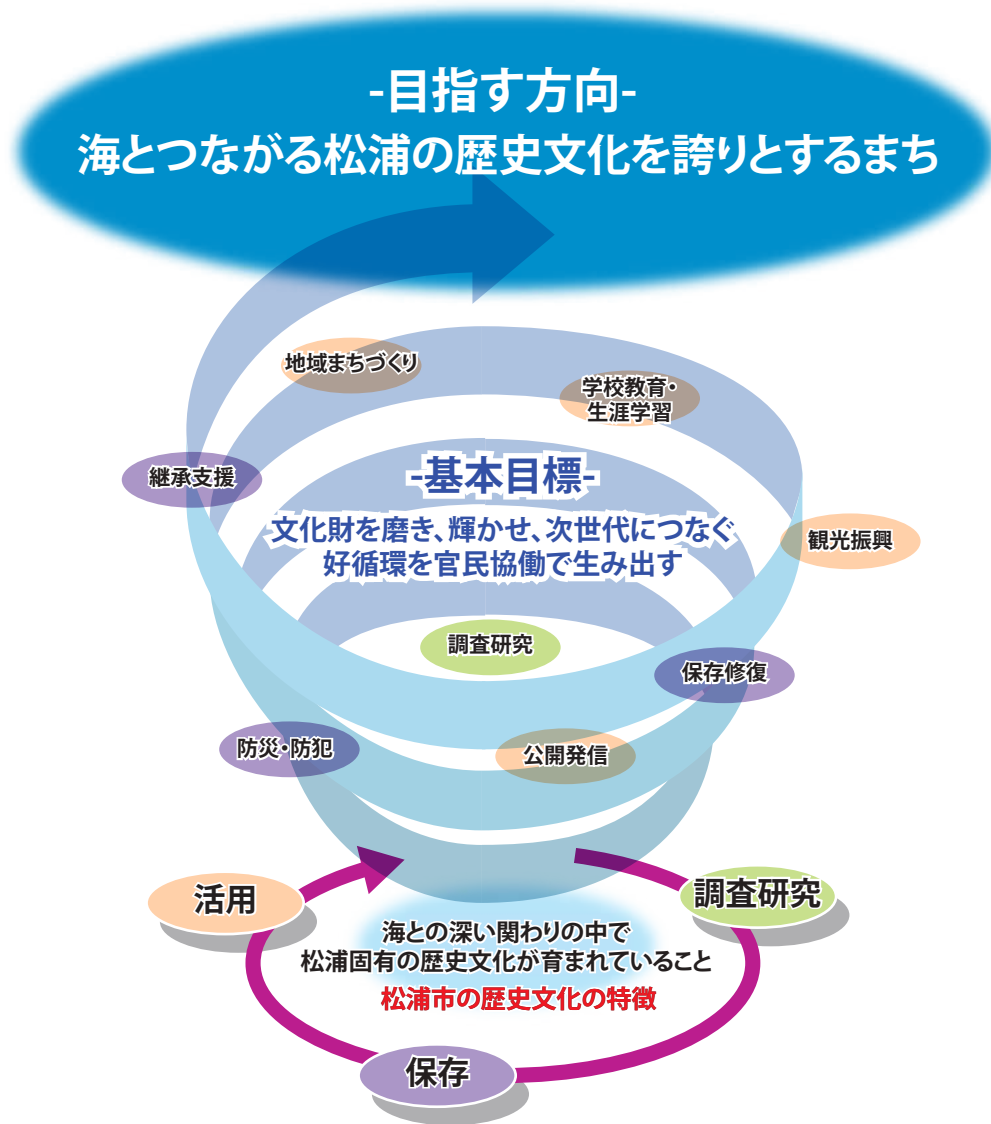


図 基本目標

(1)調査研究

松浦の歴史文化を磨き高めていくためには、歴史文化の証拠となる文化財を知ることが重要と考えます。

そのため本市は、官民協働で文化財の調査研究に取り組み、調査研究で得られた文化財情報は、民間及び専門家との共有を基本とし、保存や活用の基礎資料等として積極的に活かしていくことを目指します。

(2)保存

松浦の歴史文化を末永く輝かせていくためには、松浦の歴史文化が人々から忘れ去られていかにないように、官民協働で文化財を継続的に守り、育んでいくことが大切と考えます。

そのため本市は、民間及び専門家の理解と協力を得て、文化財の価値や保存環境等に応じた適切な保存修復と継承支援、そして文化財の防災・防犯の推進に取り組みます。

(3)活用

松浦の歴史文化を次世代につないでいくためには、歴史文化に興味のうすい人も含め、より多くの人々の理解と協力が得られる創意工夫が必要です。

そのため本市は、松浦市に愛着のある関係人口を増やしていくとともに、経済活動や民間活力の活用等を通じた文化財の保存に係る資金獲得も目指し、文化財の活用に繋げる好循環を生み出します。活用にあたっては、官民協働で公開発信、学校教育・生涯学習、観光振興、地域まちづくりの推進に取り組みます。

